

# シニア × ジュニア = 無限大！ 親子農作業体験in東由利

---

由利本荘プロモーション会議

東由利PM会 代表 小野 優

会計 大庭 志和子

庶務 佐藤 敦、八嶋 春樹、佐藤 明良

# 企画趣旨

■土に触れる体験をすることは、心を落ち着かせ、五感を刺激するとともに、生命力を高め人間としての「芯」を作ってくれる、と言われる。幼少期にそのような体験をすることで、子ども達は手指が鍛えられ大脳を刺激し、細菌に対する抵抗力もつく。

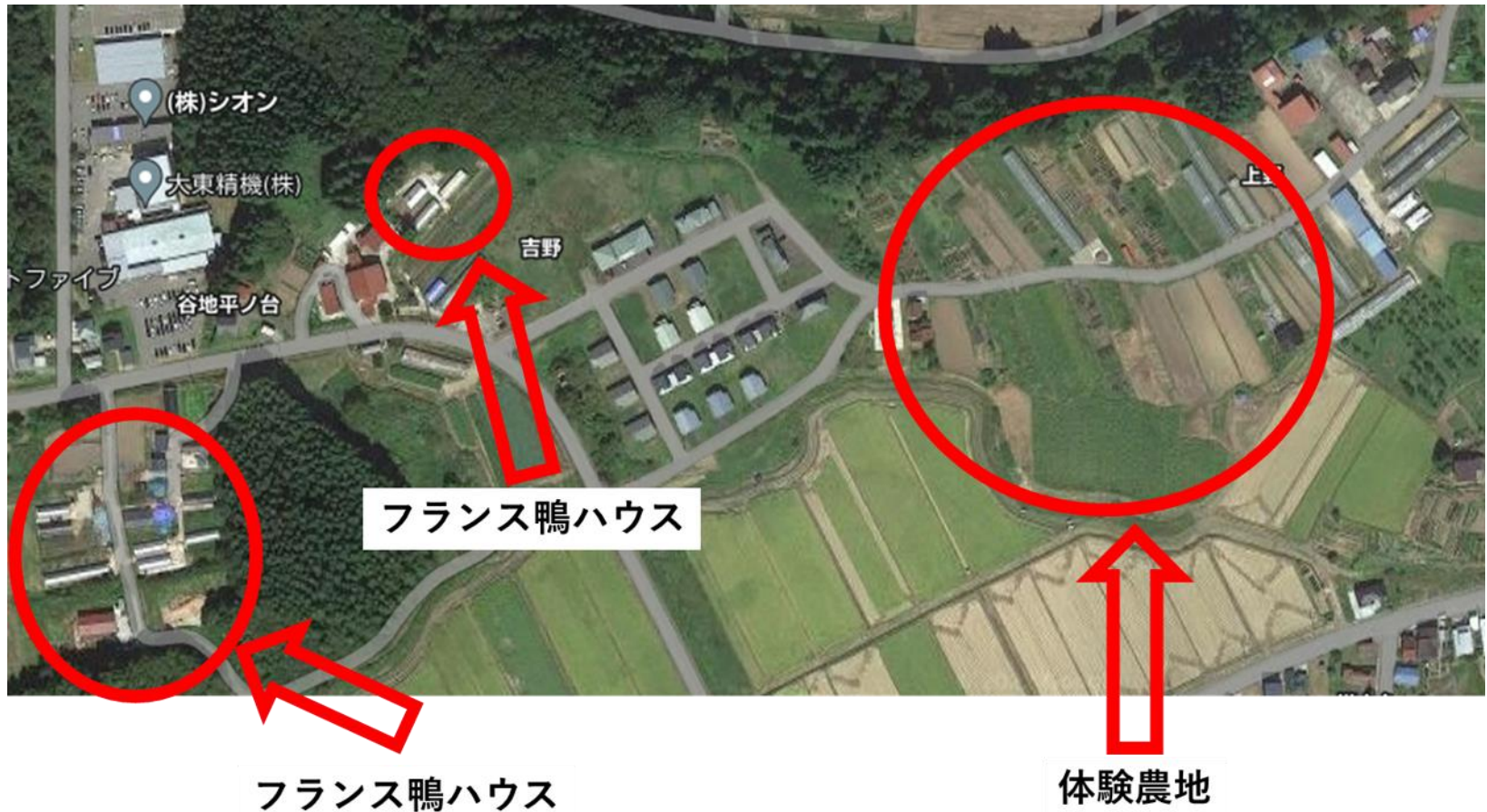
■東由利に住んでいれば、子どものうちから農作業を手伝うことは当たり前であるが、本荘市内や秋田市中心部ではめったに出来ない体験であり、**親としても様々な経験を子どもにさせたい意欲が高い。**

■このような背景から、自然豊かな東由利で営農されているベテラン農家さんの力をお借りし、**農作業体験を通じて、東由利の良さを親子で発見してもらうことで、新たな東由利ファンを獲得することを目的として本事業を実施する。**

■また、**子どもが農業全般に興味を持つきっかけ**となるとともに、生産者を知り野菜が収穫される過程を知ることで、**食へのありがたさを実感してもらうこと**を相乗効果として期待する。

# 場所

## ■金子拓雄氏の耕作農地(由利本荘市老方字上野 地内)



# 対象・内容

## ■対象

保育園年中～小学校2年生までの子ども、  
及びその子の保護者

## ■内容

第1回(6月3日(土)10:00～12:00)大人11人+子供12人

- ・農作物の定植体験(とうもろこし・枝豆)
- ・フランス鴨ハウスの見学

第2回(8月5日(土)14:00～16:00)大人10人+子供16人

- ・農作物の収穫体験(とうもろこし・枝豆・ジャガイモ)
- ・金子氏の作業小屋で枝豆の分別作業

# 第1回の様子



# 第2回の様子



# 第2回の様子



# 収入

項目	予算	決算	差引	内訳
補助金	300,000	180,093	-119,907	由利本荘市 180,093円
参加費	20,000	13,000	-7,000	6/3定植：大人11人×500円=5,500円 8/5収穫：大人9人×500円=4,500円 大人3人×1,000円=3,000円
合計	320,000	193,093	-126,907	



# 支出

項目	予算	決算	差引	内訳
専門家謝礼	60,000	60,000	0	金子拓雄さんへ(30,000円×2日)
消耗品 燃料費	59,400	37,197	-22,203	マジックペン 2,376円 移植ペラ 2,100円 画用紙等 827円 作業用ゴム手袋 6,485円 ネームホルダー 3,560円 熱中症対策用飲料 16,048円 熱中症対策用タブレット等 1,291円 熱中症対策用瞬間冷却パック 4,180円 ポリ袋 330円
印刷費	20,000	2,540	-17,460	フライヤー200部 2,100円 振込手数料 440円
食糧費 人件費	20,000	13,000	-7,000	補助対象外(参加費を充当) イベント運営にかかる人件費(1,000円/h×4h×2日) 8,000円 参加者へのお土産代 2,960円 駐車場利用にかかる謝礼(菓子折) 2,040円
業者委託費	60,000	0	-60,000	なし
使用料 送料 リース料	73,200	58,500	-14,700	種子代・肥料代 15,000円 農場使用料(6/1~8/6の67日間×500円) 33,500円 収穫物代 10,000円
広告費	25,000	20,440	-4,560	フライヤーデザイン料 20,000円 振込手数料 440円
保険料	2,400	1,416	-984	6/3定植：参加者26人×24円=624円 8/5収穫：参加者33人×24円=792円
1万円以上の物品	0	0	0	なし
合計	320,000	193,093	-126,907	

# 収支

■ 収入総額 193,093円

■ 支出総額 193,093円

■ 差引額 0円

## 参加者からの声

■小さい子どもたちと一緒にでしたが、小学生でも大変でした。それでも、**良い思い出になった**ようです。お土産も沢山いただきありがとうございました。

■お天気に恵まれて収穫体験もさせていただき、**子ども達にも良い経験**になりました。**東由利の魅力**にも**触れる事**ができましたし、親子共々楽しい思い出ができました。

小野様や金子様、スタッフの皆さんにも優しく声をかけていただき有り難かったです。

# 事業の成果

■自然豊かな東由利で営農されているベテラン農家さんの力をお借りし、農作業体験を通じて、東由利の良さを親子で発見してもらうことで、**新たな東由利ファンを獲得**することができた。

■子どもが農業全般に興味を持つきっかけとなるとともに、生産者を知り野菜が収穫される過程を知ることによって、**食へのありがたさを実感**してもらうことができた。

# 今後の課題等

■ 役割調整がうまくできず、**代表に大きな負荷**がかかってしまった。

→ チームで活動しているという自覚を個々が持ち、イベント参加者の笑顔を目標にして、**各メンバーが率先して動ける体制**としたい。

■ 補助金頼みの予算であるため、**自主財源の確保**をしていかなければいけない。

→ 企業への協賛依頼等、参加費の**値上げ**に**頼らない努力**が必要である。

# 次年度の方針

■地域に住んでいるお年寄り(シニア)と、地域及び交流人口者(ジュニア)との接点を創出することにより、地域の賑わい作りと交流人口を作り出し、東由利地域のファンづくりを行う。

# 次年度の企画詳細

■地域の賑わいを検討する上で中心部、地域の拠点になるであろう道の駅に賑わいがほとんどないのは地域の賑わい創出する上では、大きな課題である事というのを感じている。

■そこで第三セクターである、黄桜温泉×PM会とのコラボレーションが出来ないものか？というのを提案していきたい。SNSも自社発信も少なく、お客様の発信も少ない状況の中、地域の若い力とコラボすることでの発信力の向上と、視点を変えた賑わい作りの創出ができると考えている。

■情報発信にはSNS戦略はマストであり、毎年のように変わるトレンドに敏感な若い力とコラボすることでの効果は、非常に効果的であると考えている。状況によっては、秋田県立大学との連携も視野に入れつつ動ければと考える。

■令和6年度は計画検討をメインとしながら、双方合意で即実行可能なものに関しては実行していきたいと考える。

# 次年度の活動計画(仮)

## ■令和6年3月

計画承認後「黄桜の里」と打合せ実施

## ■4月

新メンバーの確定、顔合わせ

## ■5月下旬

「黄桜の里」とメンバー顔合わせ



ご清聴ありがとうございました。